

令和4年度学校自己評価システムシート(県立常盤高等学校) s 36

目指す学校像 豊かな人間性、確かな知識・技術を兼ね備えた看護のスペシャリストの養成

重点目標 1 主体的な学びを促進する魅力ある授業を追求し、授業改善を推進することで、学力の一層の向上を図る。 2 教職員一丸で社会の変化に対応できる教育活動を実践することで、心身ともにたくましく規律ある生徒を育成する。 3 看護職への自覚を高めるとともに、看護師としての職業観、倫理観を育成するキャリア教育を推進する。 4 地域・保護者・関係機関との連携強化と効果的な情報発信により、変え信頼される学校づくりを推進する。

達成度 A ほぼ達成(8割以上) B 概ね達成(6割以上) C 変化の兆し(4割以上) D 不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者 学校関係者 6名 生徒 3名 事務局(教職員) 6名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

Table with 6 columns: 番号, 現状と課題, 評価項目, 具体的方策, 方策の評価指標, 評価項目の達成状況, 達成度, 次年度への課題と改善策. Contains 4 main rows of evaluation data.

Table with 2 columns: 学校関係者評価, 実施日 令和5年2月7日, 学校関係者からの意見・要望・評価等. Contains feedback and comments from stakeholders.